

「胸部外科」特集原稿募集

2022年7月号(75巻7号)において標記のテーマの特集を行いますので奮ってご応募ください。

テーマ

ロボット支援下心臓手術の現況

2000年に米国で臨床試験が開始されてから20年、2020年4月に保険収載が大幅に認められることによって、ようやくわが国の心臓外科領域においてもロボット支援下手術が市民権を得ることができた。これまでごく少数のパイオニアたちがロボット支援下心臓手術を実施してきたが、今や心臓外科手術の次世代治療支援システムとして欠かせない装置に成長し始めてきた。20年間のロボット支援下心臓手術の進歩を振り返ると、サージカルアームの小型化、連動可能なアーム数の増加とアシスタントコンソールの導入、先端手術機器のバリエーションの増加と機能性の向上、安全機構の進歩などのシステム改良とともに、操作性のよいポート配置の工夫、専用手術器具やリトラクターの開発、人工心肺用カニューレ類の進化、ワンショット結紮デバイスの開発など、外科医の手術操作性を高める技術革新が相次ぎ、心臓外科における市民権の拡大に大きな役割を果たしてきた。

ロボット支援下心臓手術はわが国においては依然として黎明期にあるが、複数の施設で僧帽弁手術、三尖弁手術、maze手術、左房粘液腫などの治療で活躍している。CTを利用したアプローチの解剖学的解析、安全な心筋保護と脱気、干渉の少ない術野の展開など、創意工夫を凝らして優れた成績を発信している。先導的な施設からのハウツーの伝授、成功の秘訣など、積極的な投稿を期待している。

『胸部外科』編集主幹 近藤 丘, 小野 稔

* * *

- **内 容**：臨床と研究、臨床経験などテーマに沿ったもの
- **応募方法**：予定タイトル、著者名、施設名、ミニ抄録を400字詰原稿用紙1枚に収めて**2021年12月24日(金)**までにお送りください(**E-mailでも構いません**)。
編集委員会で採否を決めさせていただき、2022年1月末日までにご連絡いたします。
なお採用論文は下記のとおりご執筆をお願いいたします。
- **原稿枚数**：400字詰原稿用紙12枚以内(英文summaryを含む)、図表6枚以内
- **原稿締切日**：2022年3月31日(木)
- **掲 載 号**：『胸部外科』75巻7号(2022年7月号)
宛先：☎113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 (株)南江堂『胸部外科』編集室
TEL：03-3811-7619 / FAX：03-3811-8660 / E-mail：pub-jt@nankodo.co.jp